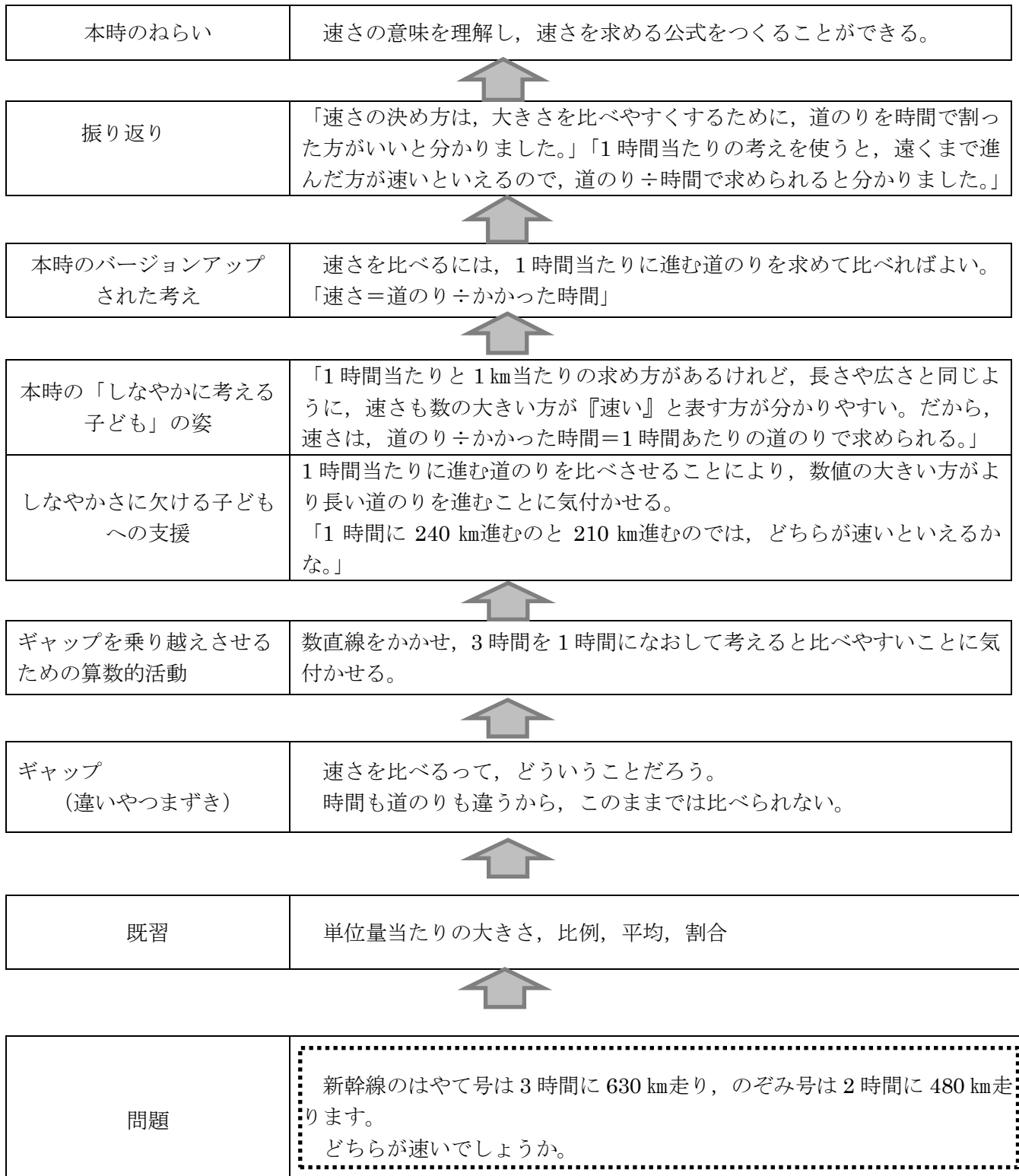


6 本時の目標と展開 (授業② 6年2組)

(1) 本時の授業構想図



評価規準	単位量当たりの大きさの考えを用いて速さを求める公式をつくり、その公式の意味について説明している。(数学的な考え方)	
評価の具体	十分満足と判断される状況	努力を要する状況の児童への手立て
	速さは単位時間に進む道のりであることをもとにして公式を考えたり、数直線を使って計算の方法を説明したりしている。	630÷3=210, 480÷2=240の式に着目させ、それぞれの数字が表していることが何なのか「道のり」や「時間」といったことばや数直線と結びつけながら考えさせる。

